

歯・口の代表的な病気に歯周病があります。歯周病にかかっていると、口の中の菌が歯茎から血管内に侵入して脳まで流れ着き、小さな脳出血を引き起こします。その結果、



佐藤 紀世彦氏（さとう・きよひこ）1972年生まれ。岩手医大歯学部卒、県歯科医師会広報委員会副委員長。さとう歯科医院（盛岡市）院長。同出身。

脳血管障害と歯周病

神経細胞がダメージを受けて脳血管性認知症を引き起こされるといわれています。

さらに、歯周病の人は口の中で慢性的な炎症が起こっており、放置しておくくと全身に炎症が広がっていきます。アルツハイマー型認知症は脳の炎症なので、歯周病の影響で炎症が増強され、進行してしまいます。

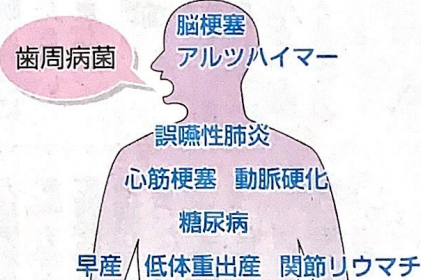
また、歯周病菌の一つであるP.g菌が持つ「ジンジパイン」というタンパク質分解酵素は、アルツハイマー病悪化の引き金となる可能性があることが分かっています。

▶17◀

検診通じリスク低減

歯周病菌と全身疾患

歯周病菌は血液を通じて全身に重大な疾病をもたらす



アルツハイマー	最新の研究でアルツハイマー患者の脳内で歯周病菌が発見された
脳梗塞 心筋梗塞	歯周病菌が血管に付着し動脈硬化→脳梗塞・心筋梗塞を発症
誤嚥性肺炎	歯周病菌が直接的に肺炎を発症させることが分かっている
糖尿病	歯周病菌と最も密接。インスリンの働きを阻害し、2型糖尿病を発症させる
早産 低体重出産	歯周病菌により発生するサイトカインが子宮を収縮させてしまい、早産・低体重出産の原因に。7.5倍のリスク
関節リウマチ	歯周病菌の毒素により関節に炎症が起こる

た。

歯周病原菌などの刺激により、動脈硬化を誘導する物質が出て血管内にプラーク（粥状の脂肪性沈着物）がたまり、血液の通り道は細くなり、プラークが剥がれて血の塊ができると、血管の細い所で詰まります。脳梗塞は脳の血管でプラークが詰

まる病気で、歯周病の人はそうでない人の2・8倍脳梗塞になりやすいとされています。

近年、飲み込まれる歯周病菌が腸内細菌叢を変動させ、動脈硬化などの全身疾患のリスクを上げることが明らかになってきました。現在、コロナ禍において医療機関への受診を控えたため健康被害を起こすことが懸念されています。血圧、コレステロール、中性脂肪が高めの方は、動脈疾患予防のためにも歯周病の予防や治療はより重要となりますので、歯科医院で定期検診を受け、予防処置や早期治療で口の健康を保ちましょう。